

## 投稿規定

1. 本誌への投稿は、京都大学ヒマラヤ研究会会員とともに、非会員からも受け入れる。掲載論文は他誌に未発表のものとする。
2. 本誌には次のものを掲載する。
  - 1) 原著、2) 総説、レビュー、3) エッセー など
3. 原稿は別に定める様式に従って、可能な限り、電子ファイルで作成する。
4. 論文の長さは、原則として、図表を含めて原稿枚数、24 枚（400 字 / 枚）以内とする。また、カラー印刷希望の場合など、図表、写真などで製版、印刷に特別の費用を要するとき、実費を投稿者の負担とする。なお、図表は 1 頁でおさまるものとする。
5. 論文には、研究の目的、方法および結果を理解できるような 300 語以内の英文抄録をつけて提出する。また表題、氏名および所属名の英文も併記する。
6. 原稿は、発行者編集係宛へ提出する。
7. 投稿原稿の採否は編集委員会で行い、査読結果により修正を求めることがある。
8. 原稿は原則として返却しない。原図・写真等の返却を希望する場合は、その旨明記すること。
9. 論文の別冊は印刷に要する実費の全額を著者が負担する。
10. 採択された論文等の著作権（著作権法 27 条 翻訳権、翻訳権法 28 条 二次的著作物の利用に関する原著作者の権利）は、発行者（京都大学ヒマラヤ研究会および、人間文化研究機構・総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」）に帰属する。
11. 発行者は、当該論文等の全部または一部を、発行者ホームページ、発行者が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

## 原稿の様式

1. 原稿は新かなづかい、口語体、平がなの横書きとする。漢字は原則として常用漢字とする。
2. 外国の人名、地名、物件名などは原語を用いる。ただし、人名、固有名詞およびドイツ語の名詞は最初の 1 字を大文字、他は小文字で書く。
3. 動物のラテン語学名はイタリック、日本語名はカタカナで書く。
4. 数量の記号は、C.G.S. 単位により欧文で表すこと。
5. 図表は鮮明で印刷しやすい形にして、説明文をつけ、おおよその挿入個所を本文左余白に指示する。
6. 章、節、項などをあらわす符号として、次のようなものを用いる。
  - I. II. III. . . . .
  1. 2. 3.
  - 1) 2) 3)
  - (1) (2) (3)
  - a. b. c.
  - a) b) c)
  - (a) (b) (c)
7. 引用文献の記載は次の様式にする。
  - 1) 雑誌の場合は、著者名（3 名以上の場合「ほか」または「et al」とする）、表題名、雑誌名、巻：掲載ページ、発行年の順とする。ただし、雑誌名は決められた略称を用いる。
  - 2) 単行本の場合は、著者名（監修または編集者名）：項目名（書名）、発行所、所在地、発行年：引用頁、の順に記す。

<引用文献記載例>

雑誌

  - 1) 堀了平：プータンの生薬資源. ヒマラヤ学誌 3: 113-122, 1992.
  - 2) Rowe JW, Kahn RL. Human aging: Usual and Successful. Science 237:143-149, 1987.

単行本

  - 1) 川喜田二郎（今西錦司編）：農業北限線の問題（大興安嶺探検）。講談社、東京、1975:514-534.
  - 2) West JB: High life. A history of high-altitude physiology and medicine. Oxford University Press, New York, USA, 1998: 132-163.

